

## 高 延岡しろやま支援学校 12・2月 千穂校しろたか販売祭

延岡しろやま支援学校高千穂校は、昨年12月14日の第1回に続き、2月20日に2回目のしろたか販売会を、がまだせ市場鬼八の蔵にて行いました。

当初、2回目を1月に行う予定でしたが、天候が心配されたことから延期。“次はいつになりますか”などの問い合わせもあり、待ちわびた人や近くの園児が訪れ、賑わいました。また、呼び込みや購入のお礼として、先生が演奏し生徒が手話歌などを披露。手拍子と拍手で温かな雰囲気となりました。

12月の販売のときには「たくさん売れてよかった。2回目は、もっとたくさん売りたい」と話していた生徒らは「今回もたくさん売れてよかった」と話しました。



## ガ グローバルな感覚を養う 2/26 ンビア共和国と交流

高千穂中学校で、ザンビア共和国の中学生との異文化交流がオンラインで行われました。

1年生89人は、総合的な学習の時間として、これまでに町の魅力を探究。その成果を発表する機会として、今回、青年海外協力隊の隊員としてザンビア共和国へ渡った先生の協力により、交流が行われました。

交流では、代表グループ5人が高千穂の自然や伝統文化、産業をテーマに高千穂峡や高千穂牛、神楽などについて英語で紹介。画面を通して、お互いのさまざまな文化の違いに興味深く聞き入っていました。



## 薬 薬といっても色々 2/6 物乱用防止教室

押方小学校で、学校薬剤師の坂本力治さん(さくら調剤薬局)を講師に迎え、6年生の薬物乱用防止教室が行われました。

薬物はとはなにか。覚せい剤や大麻等の危険薬物だけでなく、アルコールやたばこなどの危険性。また、市販薬についても、用法や用量を守らないと過剰摂取となり非常に危険であるなどの説明を受けました。

甲斐尊暁さんは「これまでいろいろな薬を治療に使ってきたが、使い過ぎはいけないと思った。これからは正しい使い方をしていきたい」と話しました。



## 高 延岡しろやま支援学校 2/15 千穂校職員研修

延岡しろやま支援学校高千穂校の職員4人が、玄武山正念寺で職員研修を行いました。

職員らは、御本尊を前に「共に生きるということ」について、第17代吉村順正住職の法話を聞きました。

法話の後は、ヴィクトリア坊守がホストを務める正念寺ロッジを見学、お客さまを暖かく迎え入れるための工夫やおしゃれなづくりに感動をしていました。

芝裕介養護教諭は「全てに通ずる話だった。他者を気遣い、価値を決めつけることなく、一人ひとり誠意をもって対応したい」と話しました。



また、2月7日は高千穂中学校で行われ、金丸智弘校長が「これからますます予測困難な時代がやってくる。その時代を力強くたくましく生き抜くことができるよう応援している。みなさんの活躍のステージが、日本国内でなく世界であっても、志の根幹は家族やふるさと高千穂にある。“人生常に六十点 学びなくして成長あらず 夢叶うまで挑戦”してください」と式辞を述べました。

続いて、学級ごとに登壇し、2年生67名が一人ひとり来賓者や保護者を前に将来の夢や目標など発表しました。その後、1組の甲斐瑛暁さんと2組の池田麗輔さんが代表し、学級ごとの誓いのことばを述べ、それぞれの生徒が復唱しました。

式終了後、宮崎県キャリア教育支援センターの水永正憲トータルコーディネーターが「君たちはどう生きるか～君たちの未来は可能性に満ちている～」と題して記念講演を行いました。



## 柚 社会科見学 2/5 木野人形浄瑠璃を学ぶ

上野小学校の4年生7人が町コミュニティセンターを訪れ、柚木野浄瑠璃の歴史を学びました。

児童らは、人形の作り方や操作方法などの説明ビデオを見たあと、保存会の佐藤弘文会長と町職員の緒方俊輔さんに話を聞くなどして、実際に人形を持ち、重さや動かすなどの体験をしました。

佐藤会長は「継承していくことはなかなか難しいが、学ぶことで興味を持ってもらえれば」と話しました。



## 立 町内中学校 2/1・8 志式を開催

2月1日、上野中学校で立志式が行われました。

末原幹大校長が「今日の決意を実行すること。困難や失敗が数多く訪れるが、それらの経験をする中で、諦めず、へこたれずに実行することで、人は成長する」とあいさつ。「“努力は足し算 協力は掛け算”一人ひとりの夢や希望が叶えられるように各自の努力と、クラス全員の協力に期待します」とはなむけの言葉を贈りました。

続いて、2年生13人が、それぞれの夢や目標、抱負を来賓者や保護者の前で発表しました。

式終了後、本町教育委員会の戸敷二郎教育長が「生きるということは、挑戦の連続です」と題して記念講演を行いました。



## 青 1日に必要な量は？ 2/2 果物食育講座

岩戸小学校で、株式会社eatLinkの黒井春菜代表取締役を講師に迎え、青果物食育講座(県青果物消費拡大推進協議会主催)が行われました。

黒井さんは、管理栄養士やアスリートフードマイスターの資格を持ち、スポーツ少年団からプロのアスリートの食事をサポート。6年生と保護者を対象に「1日に必要な野菜や果物の量を知ろう」と授業を行い、野菜の種類や重さを量るなどして、1日に必要な量を自分たちで工夫すれば食べれることを学びました。

